

## 第39回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和5年3月3日（金）午後2時40分～
- 開催場所 遠軽町役場 議会委員会室
- 記者数 7人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の発表についてご説明申し上げます。

### 1 G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合歓迎レセプションへの国宝展示ブースの出展について

本年5月開催のG7広島サミットに係る関係閣僚会合として「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」が4月15日と16日の2日間にわたり札幌市で開催されます。

本会合では実行委員会による歓迎レセプションが予定されており、新たに国宝となる「北海道白滝遺跡群出土品」の展示ブースを設置することとなりました。

石器のレプリカや解説パネル、動画により国宝や白滝ジオパークを紹介する予定です。

主要国の環境政策の責任者が一堂に会する本会合は、注目度も高くメディアを通じて世界に発信されることが予想されます。北海道や北海道教育委員会とも連携を図りながら、国宝の価値や魅力を国内外に積極的にPRしてまいります。

また、同じく4月15日と16日に札幌ドームにおいてG7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合開催記念イベントとして「環境広場ほっかいどう2023」が開催されます。こちらにも遠軽町の展示ブースを出展し、国宝をはじめとする町の魅力を広く発信いたします。

### 2 観光イベント等について

3年間中止となっておりました「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」につきましては、2月26日に4年ぶりに開催することができました。

国内最長となる、80キロの湧別原野コースや、95キロを5人でつなぐ駅伝など、全7種目で675人の皆様に、オホーツクの雄大な自然をお楽しみいただき、当地域の魅力を発信できたものと考えております。

また、明日3月4日には、遠軽青年会議所を主体とする実行委員会が、第8回えんがる屋台村「雪提灯」を開催します。

ジャンボ滑り台や、屋台での地場製品の提供、スノーキャンドル点灯セレモニーなど、今回も親子連れやご年配の方までが、冬の日を大いに楽しめる内容と伺っております。

次に、3周年を迎えた「道の駅遠軽森のオホーツク」における入込状況ですが、令和4年度の来場者の見込は66万人と、前年度の52万人から27%増加し、当初の見込みである55万人を大きく上回っております。

新型コロナウイルス感染症の影響を長く受け続けておりましたが、回復傾向にあることから、地域経済の振興につながるものと期待しているところであります。

### 3 エンアイリッシュデーについて

本町では、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、アイルランドのホストタウンとなり、これまで様々な交流を行ってまいりました。

2月には、新たに駐日アイルランド大使として就任したデミアン・コール氏と面会し、今後も交流を深めていくことで意見交換したところです。

3月17日には、アイルランドのナショナルデーである「セント・パトリックス・デー」があり、これに合わせて、町内でも「エンアイリッシュデー」と題してイベントを開催いたします。

3月17日から19日までの3日間、メトロプラザをアイルランドカラーである緑色にライトアップし、17日には同プラザでノーツ オブ ノースさんをお招きして、アイルランドミュージックを奏でていただく予定です。

イベントの詳細については、今後ホームページや新聞折込などで周知してまいりますので、アイルランドカラーの緑色を身に着けてぜひ会場にお越しいただきたいと思っております。

あわせて、3月17日には、給食の時間を利用して、小・中学生を対象に遠軽町とアイルランドの関係性を周知しながら、アイルランドミートを使った給食を提供する予定です。

また、3月18日には、札幌市の大通公園で開催される「セント・パトリックス・デー in 札幌」のパレード等にも町職員が参加いたします。

#### 4 ガンダムマンホールの寄贈について

バンダイナムコグループ「ガンダムプロジェクト」が企画する「ガンダムマンホールプロジェクト」より、マンホールを寄贈されることが決定しました。

『機動戦士ガンダム』のキャラクターデザインなどにかかわった安彦良和先生の出身地である本町が参加でき、とても嬉しく存じます。

寄贈の時期としては本年を予定しており、現在マンホールデザインなどについて、調整を進めているところであります。

寄贈枚数については2枚で、設置場所については道の駅遠軽森のオホーツクと遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」の敷地内に各1枚と想定しております。

デザインに使用されるモビルスーツは「ガンダム」と「ザクⅡ」の予定です。

また、マンホール蓋のデザインを使用した商品開発につきましても今後検討してまいります。